

折り紙建築とは、折り紙の手法を応用し、1枚の紙から建築物や動物など様々な立体的造形物を表現する切り紙の一種である。

今回は、来年の干支（巳）を作りました。

用意するものは、

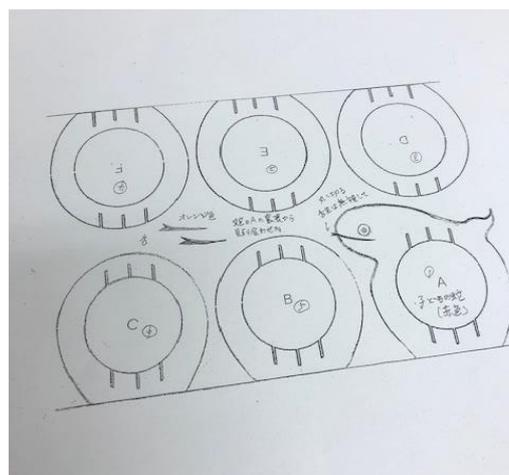
- ・ものさし（15～20cm）
- ・カッターナイフ
- ・のり
- ・カッターマット（厚紙、雑誌、新聞紙などでも可）
- ・ハサミ
- ・鉄筆（インクの出なくなったボールペンでもよい）
- ・目打ち
- ・型紙
- ・ケント紙（少し厚めのもので作るとしっかりとしたきれいな作品に仕上がる）赤と白色
- ・丸い色シール（巳の目を作る）



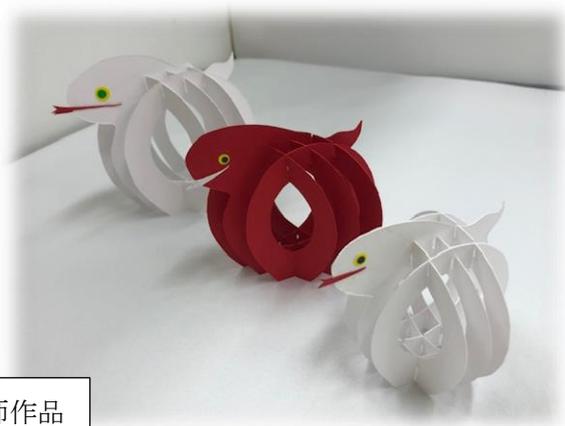
講師作品

* 「来年の干支（巳）を作きましょう！」

- ① ケント紙に講師の準備した型紙を載せます。
- ② 型紙に書かれている通りに「切り取り」の線を確認して、鉄筆とものさしを使って、なぞります。
- ③ カッターナイフで型紙通りに切る。カッターナイフを使うのが慣れてない方はハサミで切ってもよい。
- ④ 型紙通りに切れたら、巳の顔のあるAの裏表からアルファベット順に組み合わせていく。



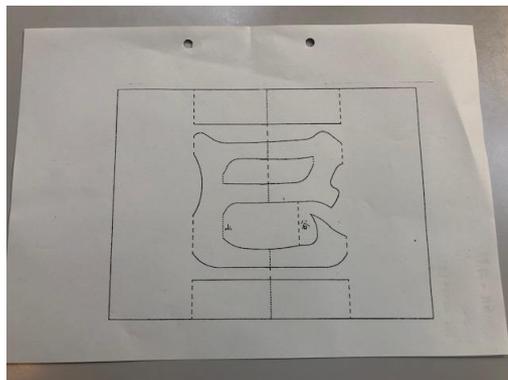
- ⑤ 型紙を組み合わせたら、赤色の色紙で
(赤色の巳の場合白色の色紙で)
同じ形の舌を2枚作り、バランスを考えながら
巳に2枚の舌を貼り合わせる。
- ⑥ 巳の目は大ききの違う丸い色のシールを
組み合わせて貼る。
シールの色の組み合わせはお好みで。



講師作品

*** 「巳」の文字を折り紙建築で作ってみよう！**

- ① ケント紙の上に講師の準備した型紙を用紙の中心に載せます。



- ② 型紙に書かれている通りに「山折り」、「谷折り」、「切り取り」の線を確認して、鉄筆とものさしを使って、なぞります。
- ③ カッターナイフで型紙通りに切る。カッターナイフを使うのが慣れてない方はハサミで切ってもよい。型紙を外して、折り目を付けたら、赤色の台紙にのりで貼り付ける。



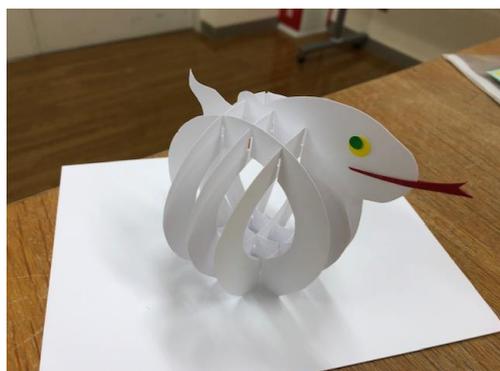
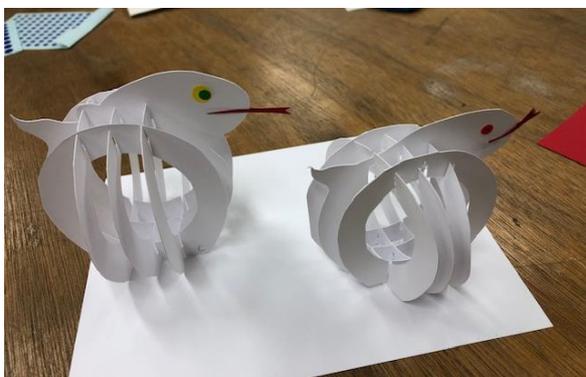
講師作品

「折り紙建築」を作ったことのある経験者は、時間内に、巳と文字の巳の2つの作品を完成させることができました。

初めて「折り紙建築」を作られた方は、作り方がわからず最初戸惑われた方もいたようでしたが、講師が一人一人丁寧に指導していただきましたので、満足のいく作品ができたようです。時間は少々オーバーしましたが、巳と文字の2つの作品を完成させました。

受講生からは、「またこの講座をやってほしい。」、「再来年の干支を作ってみたい。」、「自宅に帰ってからも作りたい!」、「脳トレになる!」との声をいただきました。

折りたたんだ一枚の紙から、ピョコンと立体の文字や動植物などが飛び出す、不思議な世界「かみわざの世界」を楽しめた講座となりました。



受講生作品